

ミヤマチャバネセセリ

Pelopidas jansonis

兵庫県：C

環境省：－

種の概要

前翅長16～22mm程度。翅の表面は茶褐色で、前後翅ともに白色斑を有する。翅の裏面は黄褐色で、前後翅ともに白色斑を有する。主に山地の草地や湿地に生息し、幼虫はイネ、チガヤ、ススキなどを食べる。本州の暖地では年多化性で、成虫は5月～10月にかけて見られる。



写真提供：近藤伸一

国内分布

本州、四国、九州、佐度、隠岐

県内分布記録

神戸市、芦屋市、猪名川町、加古川市、三木市、多可町、姫路市、神河町、福崎町、相生市、赤穂市、宍粟市、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、丹波篠山市、丹波市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
					○

特記事項

要注目種からにCランクに変更
淡路市を除く県内に広く分布し、旧33市町に記録はあるが、ほとんどが1980年代以前のもので、近年急速に個体数を減じており、比較的確認数が多かった県北西部でもほとんど見ることができなくなった。シカの食害により、草原環境の減少、植物の種類の単純化などが原因と考えられる。

保護上の留意点